

高松市卓球協会主催の卓球大会にあたっての安全対策ガイドライン

1. 大会を開催するにあたって

大会の開催に際しては、選手を中心とした関係者全員の安全・安心を最優先し、実施の可否等について慎重に判断し、実施する場合には十分な感染症対策を行う。ただし、県内の感染状況に応じて、大会中止を決定する場合がある。

- (1) 監督・指導者は必ず、選手および保護者から大会参加の承諾を得た後、自身の責任のもとに申し込みを行う。その際、大会参加を強要することがないよう配慮する。
- (2) 発熱等の症状がみられる選手がいた場合、その選手の大会出場は認めない。
大会中に関しても監督・指導者は選手の健康観察を徹底し、仮に発熱等が見られた場合は速やかに帰宅させること。

2. 大会中の具体的な感染症対策

- (1) 原則無観客試合とする。会場への入場は選手、監督、指導者、役員のみとする。
小学校の生徒については保護者の入場を認める。ただし必要最低限の人数にとどめ、各チームの監督・指導者はその人数・氏名を必ず把握すること。
- (2) 当日受付時に代表者から監督・選手の健康状態報告書を提出すること。(別添報告書)
競技会場において、手洗いや咳エチケット（マスクの着用）などの基本的な感染症対策を徹底する。
- (3) 会場出入口には消毒液を設置し、トイレには石鹼を準備する。
- (4) 観覧席は密を避けるため、スペースを空けて着席させるとともに、応援は拍手のみとする。
- (5) 定期的に換気を行う。
- (6) 更衣室の利用については短時間・少人数で利用するよう指導する。
- (7) 開会式は簡略化して行う。

3. 試合中の具体的な感染症対策

- (1) 各台にアルコール消毒液を準備し、選手及び審判は試合前後に手指消毒する。
- (2) 選手同士および選手と審判の握手は行わない。
- (3) タオルや飲料は共有を避け、個人のものを使用させる。
- (4) 日本卓球協会制定のガイドラインに沿った特別ルールを適用することがある。